

坪矢重子 あつひ 倭人。大正二年五月一日東京市深川区住吉町生れ、

昭和十七年七月三日没（一九三―四二）。本名實。昭和十年日本大學文學

部入學も、病を獲て爾來療養生活。十一年頃より句作。松村巨濑の師

事し、その主宰誌『樹海』を主な舞臺として評論をも筆を執つた。

遺稿集『矢重艸』（昭和十七年十一月二十五日樹海社）。

